

# 童謡の100年

## —北原白秋と『赤い鳥』

日時 平成30年6月30日(土) 午後2時～午後4時(開場午後1時40分)

会場 東京音楽大学 A200教室(豊島区南池袋3-4-5)



### 演奏者



ソプラノ  
かわた まりか  
(東京音楽大学  
大学院2年)



ピアノ  
おおむらうらら  
大村 麗  
(東京音楽大学  
大学院2年)

今年、豊島区発祥の童話・童謡雑誌『赤い鳥』が創刊100年を迎えます。『赤い鳥』は、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」や新美南吉の「ごん狐」などの童話、北原白秋の「赤い鳥小鳥」や西條八十の「かなりや」などの童謡等、現代でも誰もが読んだり口ずさんだりしたことがある優れた作品を世に出した雑誌です。目白に住んでいた、鈴木三重吉が中心となり、子どもには子どものための文化が必要という主張を、子どものための文化運動として、豊島区から広く表明していきました。

創刊100年に寄せて、「赤い鳥と童謡」をテーマに特別講演会を開催します。第二部では、東京音楽大学の学生による『赤い鳥』ゆかりの作品演奏をぜひお楽しみください。

### 第一部

### 第二部

東京音楽大学講師  
周東美材氏による講演  
(1時間20分)

東京音楽大学の学生による  
ミニコンサート(30分)



講師 東京音楽大学講師  
周東 美材氏

しゅうとう・よしき ●1980年群馬県桐生市生まれ。東京大学大学院学際情報学府修了、博士(社会情報学)。専門は社会学、音楽学。東京大学大学院特任助教、日本体育大学准教授を経て、現在、大東文化大学専任講師、東京音楽大学、首都大学東京講師。著書に『童謡の近代—メディアの変容と子ども文化』(2015年、岩波書店、第46回日本童謡賞・特別賞、第40回日本児童文学学会奨励賞)など。

### 演奏曲目

- 『赤い鳥』で発表された童謡を中心に
1. かなりや
  2. りすりす小栗鼠
  3. 揺籠のうた
  4. ちんちん千鳥
  5. 七つの子
  6. あわて床屋
  7. からたちの花
  8. この道

定員 150名(要申込・先着順)

参加費 無料

その他 手話通訳あり

### 特別展示 『赤い鳥』と童謡の系譜

『赤い鳥』(復刻版)全号、関わりのある作家の作品や研究書、同時代に発行された『日本児童文庫』(アルス)等を展示します。また『赤い鳥』以降の童話～児童文学の流れについて、資料を展示・配布します。

展示場所 豊島区立目白図書館特集展示コーナー(豊島区目白4-31-8)

展示期間 平成30年6月23日(土)～7月19日(木)



主催

豊島区立中央図書館

豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル5階  
企画調整グループ ☎03-3983-7861

